

2025 年 10 月 3 日

Honda のブラジルにおける二輪車およびパワープロダクツ製品の生産・販売現地法人であるモトホンダ・ダ・アマゾン・リミターダ（本社：ブラジル・アマゾナス州マナウス 社長：一瀬 新）は、現地時間 2025 年 10 月 2 日に以下を発表しましたので、その内容をご案内いたします。

### ブラジルで二輪車工場への新規投資を決定

Honda のブラジルにおける二輪車およびパワープロダクツ製品の生産・販売現地法人であるモトホンダ・ダ・アマゾン・リミターダ（以下、HDA）は、拡大するブラジル二輪車市場の需要に合わせマナウス工場（アマゾナス州マナウス）に 2026 年から 2029 年までの 4 年間で約 16 億レアルを投資します。

HDA のマナウス工場は、1976 年に稼働を開始し、現在は年間生産能力 140 万台で 110cc から 1100cc までの 19 モデルを生産しています。ブラジル国内だけでなく米国・オーストラリア・メキシコなど 17 カ国に輸出しており、これまでの累計生産台数は 3100 万台を超えています。

近年、個人の移動手段としての需要増加に加えて、デリバリーなどの商用ニーズの高まりを背景に、ブラジルの二輪車市場は急速に拡大しています。

今後も継続的な拡大が見込まれる需要に対応するため、HDA は 2026 年から 2029 年まで継続して新しい設備の導入などによる生産工程の能力拡大や、工程のレイアウト変更などによる生産プロセスの最適化、工場内物流の改善などを行います。これにより市場の変化や需要の増加、今後の商品ラインアップ拡大に、より迅速かつ柔軟に対応できる体制を整え、2026 年には生産能力を 160 万台に拡大し、新たに約 350 名の雇用を創出する見込みです。

#### ■HDA 社長 一瀬 新（いちのせ あらた）のコメント

「Honda はブラジルの可能性を信じ、地域社会の持続的な発展に向けた取り組みを継続しています。アマゾナス州マナウスにおける 50 年近くに渡る生産活動を通じて、高品質な製品を提供し、日々の移動を支えることで、ブラジル国民の皆様から厚い信頼を獲得してきました。今回の新たな投資は、ブラジルという国、ビジネスパートナー、そして国内市場に対する Honda の揺るぎない信念を改めて示すものです。私たちは常にお客様を事業の中心に据え、今後も成長を続け、雇用を創出し、ブラジルの消費者の皆様のニーズと期待に応えることを最優先に、事業運営のさらなる強化に努めてまいります」

#### 【モトホンダ・ダ・アマゾン・リミターダ/Moto Honda da Amazonia Ltda.概要】

設立：1975 年 7 月（生産開始：1976 年 11 月）

本社所在地：アマゾナス州マナウス

資本金：21.4 億レアル

出資比率：Honda South America Ltda. 100%

代表者：社長 一瀬 新

事業内容：二輪車およびパワープロダクツ製品の製造・販売

生産能力：140 万台/年

生産機種：CG160、Biz125、POP110i、NXR160 Bros、XRE190、Elite125、ADV160、PCX160、CB300F Twister、CRF300F、XRE300 Sahara、XR300L Tornado、Hornet500、NX500、CB650R、NC750X、CRF1100、CB1000、TRX420

従業員数：約 9,000 名（2025 年 10 月時点）